

2023年2月第5回「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」受賞から、

「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」実行委員会共同代表の見解

「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞を終了いたします」に至るまでの

経過

なくそう戸籍と婚外子差別・交流会通信「Voice」が2023年2月に第5回「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」優秀賞を受賞しました。

しかしその後むのたけじ氏は障がい者女性に対する差別発言を行っていたとの指摘があり、どのような差別発言だったのかその資料を探し求めました、資料を読み、あまりの差別発言内容のひどさに、このままにしてはいけなのではないか、ではどうしたらよいのかと迷い悩みました。

しかしこのまま頼被りすることはできないと考え、むのたけじ氏の差別発言についてどのように考えどう受け止めるのかについて「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」実行委員会共同代表の見解を尋ねることとし、2023年6月9日付で「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」実行委員会共同代表の皆さまへ」という要請を行いました。

この要請に対し、4人の共同代表から、12月24日付で「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞を終了いたします」との見解が私たちに届きました。

私たちからの要請を、共同代表の4人の皆さまは真摯に受け止めてくれました。むのたけじ氏の差別発言は40年余り前のことだとか、本人はすでに亡くなっているので尋ねることができないから等と無視することも逃げることもせず、真正面から受け止めてくださったことに、おひとりおひとりに心より敬意を表したいと思います。そして感謝いたします。